

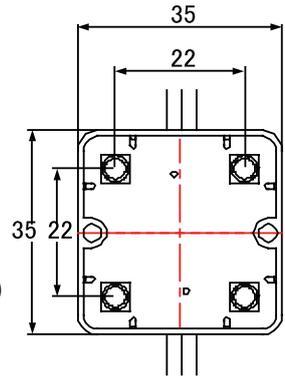
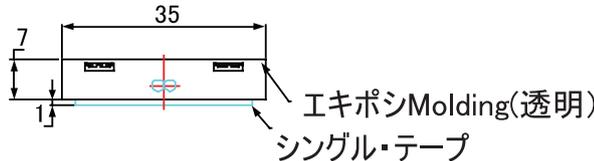
製品規格

電気的特性
 起動電流: 110 mA (有色: 70mA)
 電力消費量: 1.32 W (有色: 0.84W)
 起動電圧: DC 12V
 最大直列連結数量: 50 modules

防熱及び熱性
 放熱: 自然放熱
 最大動作温度: 40 °C
 最低動作温度: -20 °C
 最大保管温度: 60 °C
 最低保管温度: -30 °C



製品規格



安全の注意事項

ご使用になる方やほかの方々への危害や損害を防ぐために必ず守っていただきたいことを説明しています。以下の注意事項に反する使い方をすると、破損・感電・発煙・発火の原因になります。



DC12V DC12V電源をご利用ください。

AC100V AC100Vなど、ほかの電源には絶対に接続しないでください。

! 本灯具に通電したまま、本灯具を結線したり切断したりしないでください。

! 屋外でご利用になるときは雨の日や湿度が高い日は避け、水分に直接露出しないようお願いいたします。

! 本灯具は、次のような環境でご利用にならないでください。
 ・高温 (85°C以上) になる場所
 ・湿度の高い場所
 ・粉塵が多い場所
 ・腐食性ガスが発生する場所
 ・電界や磁界の影響を受ける場所



本灯具に、次のような行為は行わないでください。
 ・分解や改造する
 ・無理にひっぱる、ねじる
 ・LEDランプを鋭い道具でさしこむ
 ・LEDランプの上にボンドやシリコンをぬる



各直列連結には連結可能なモジュールの数量が制限されています。制限された数量以上を点灯する場合、防然および火災の危険性がありますのでご注意ください。



SMPSと最初のモジュールの間に使用されるリード線の種類が明示されています。電線の太さが薄すぎると部分的に照度が低くなる可能性があります。



SMPSと最初のモジュールの間に使用されるリード線の長さが制限されています。2ページの「電線規格案内表」を参照してください。

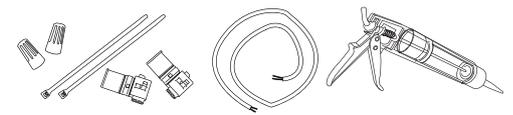
設置の準備

用具



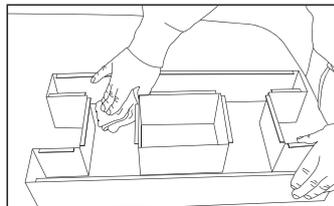
ワイヤストリッパー、電動ドリル、ドライバー、ふきん

資材

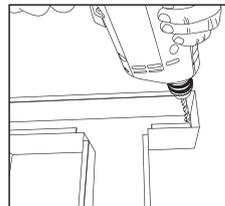


ワイヤーナット、ケーブルタイ、IDCコネクタ、VCTF電線、シリコン

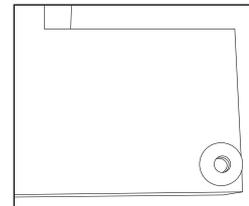
設置する場所を決めてください。



1. チャンネルの内部を拭き取ります



2. 電線用ホールを作ります



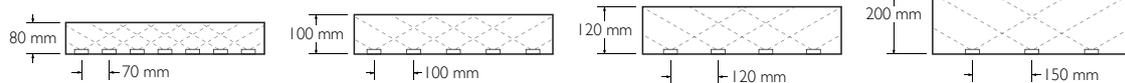
3. 必ずブッシングを利用してください

1. チャンネル内部のホコリ、油、水分などを拭き取ります。汚れがついた表面には3M両面テープが上手につきません。
2. SMPSと連結になる電線の通過するホールをドリルで作ります。
3. ブッシングがないとホールの部分が鋭いため電線の被覆がむける可能性があり、漏電による火災発生の原因にもなります。
 *最適な照度演出のためにチャンネル内部は白色に塗装してください。

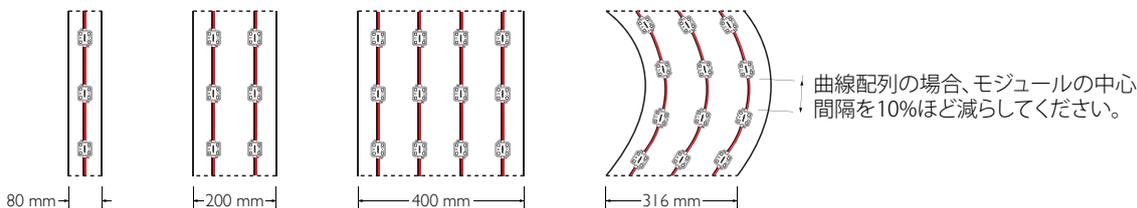
モジュール間隔及びチャンネル高さ

チャンネルの高さと幅により配列の間隔が異なります。下の絵を参照し、最低な費用で最高の照明ソリューションを演出してください。もし配列間隔がチャンネルの高さに比べて非常に広ければ、チャンネルの一部が暗くなったり表面の光がならさなかったりする可能性があります。

チャンネルの高さによりモジュールの中心間隔が異なります。

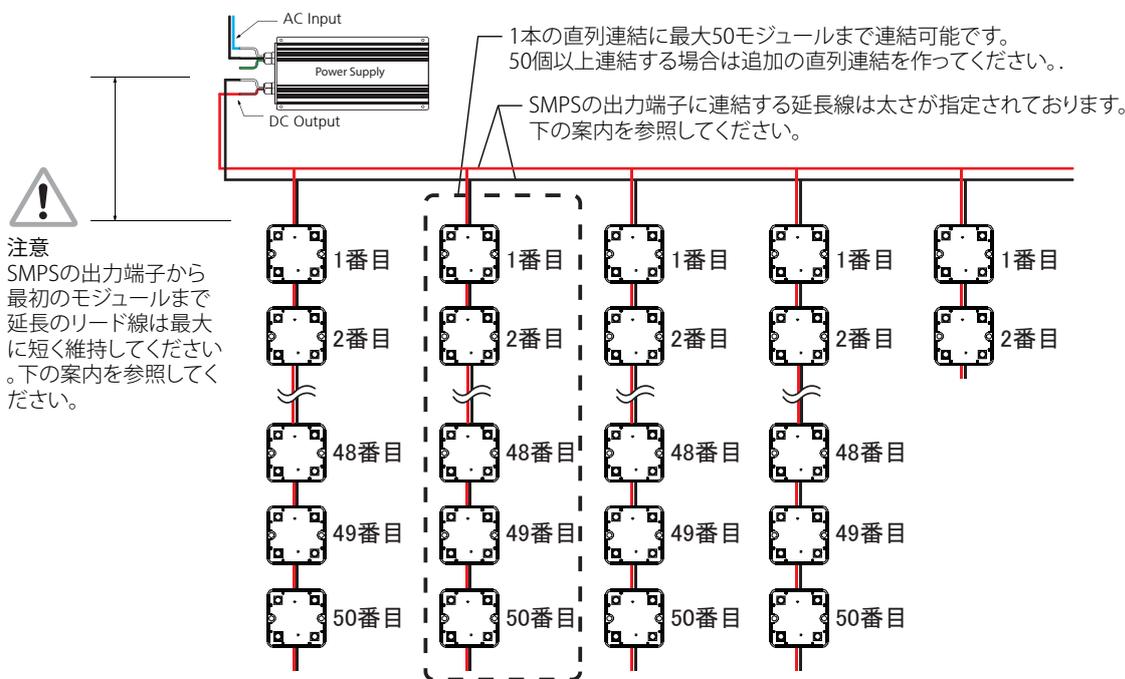


チャンネルの幅により列の間隔が異なります。



本製品連結

各直列連結ごとに連結可能なモジュールの数量が制限されております。制限数量以上ご利用になる場合は超過数量に対するモジュールの照度が低くなる可能性があります。又過負荷が発生し、製品およびSMPSに損傷を与える恐れがあります。



SMPSの連結案内

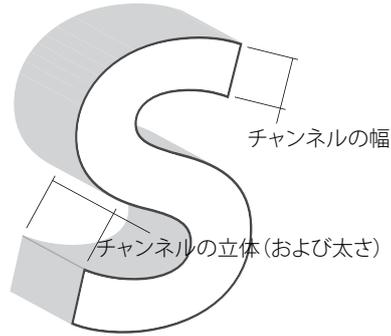
SMPSの出力端子に連結する延長線は太さが指定されております。

SMPS モデル名	PSCS-050-12	PSCS-100-12
出力容量(W)	50W	100W
出力電流 (A)	4.2A	8.3A
最大連結数量 (白色)*	38pcs	77pcs
最大連結数量 (有色)*	60pcs	120pcs
適用延長線種類	VCTF2.0 AWG14	VCTF2.0 AWG12
延長線最大長さ	5M (15FT)	5M (15FT)

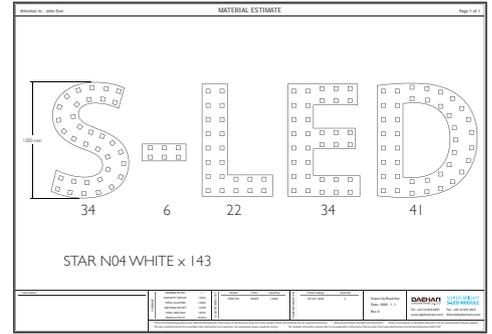
*最大連結数量はSMPSとモジュールの寿命のためSMPS出力の85%を基準として算定されました。
**600Wと1000W(モデル名PSCS-0600-12、PSCS-1000-12)製品は自体防水機能がありません。別途の防水箱の設置が必要となります。ただし防水箱には必ず通風口を作ってください。

設置方法

1. 予想数量、配列間隔および位置を算出します。

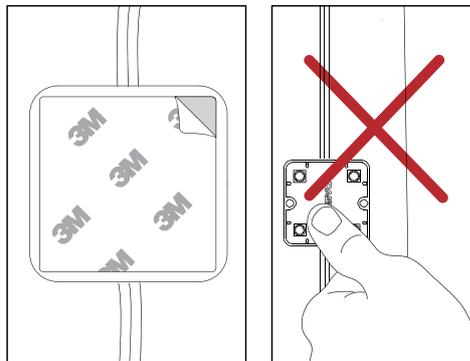


'2'ページの'モジュール間隔およびチャンネル高さ'を参照してください。



お客様のために配置図の設計を行います。
お問い合わせは(株)大韓トランスまでお願いいたします。

2. 3M両面テープをはがし貼り付けます。

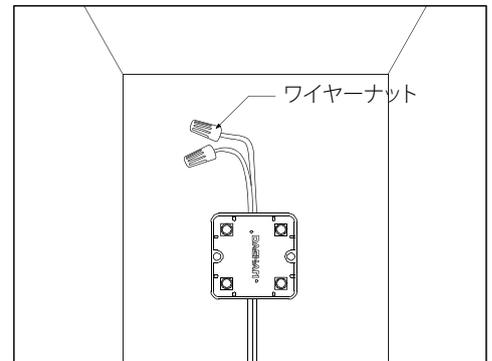


1段階で算出した図面により格位置にモジュールを配列します。モジュールの裏にある両面テープをはがし設置する位置に貼り付けます。貼り付けの時、強く押し固定してください。



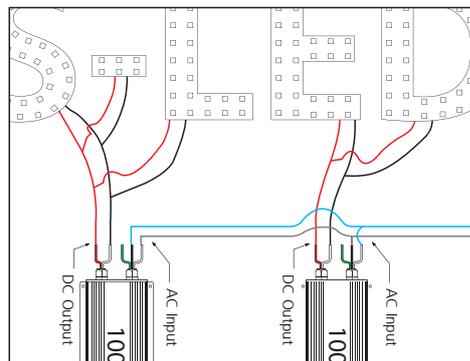
注意
製品を固定する時、LEDランプを直接押さないでください。

3. リード線の終わりの部分は防水処理します。



チャンネルの内部との短絡現象が発生しないようにリード線の終わりをワイヤーネットまたはシリコンでまもってください。

4. 電源と連結し点灯確認をします。

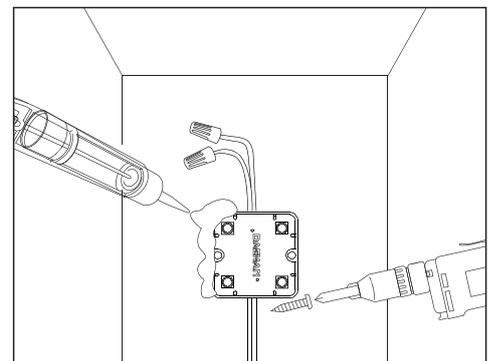


1段階で算出した図面によりSMPSの容量に合わせてチャンネルを分配します。その後電源を認可し点灯の確認を行ってください。



注意
SMPSと連結する前に、グリッド線の連結部分が極性に合わせているのかを確認して下さい。

5. 製品を完全に固定します。



ねじ釘の固定: 湿気や水分が多い場所の場合、M2.5*15規格のねじ釘で強く固定します。

シリコンの固定: シリコンでモジュールの周囲を塗布し強く固定します。この場合、シリコンがLEDランプに直接入らないようご注意ください。

製品欠陥の対応

設置の後サイン全体又はサインの一部が点灯されません。	SMPSと最初のモジュールとの接続を確認してください。リード線の極性が誤って接続されている場合、逆電圧防止回路が動作するため点灯にならない可能性があります。SMPSとモジュールのリード線は同じ色どうし接続しなければなりません。
それでも点灯になりません。	SMPSの出力端子から電圧が出力されているのか確認してください。電圧の一般的な許容範囲は12.0VDC±0.5VDCです。もし出力端子から電圧が出力できない場合は電気専門者に相談し、電圧が出力できる場合は相談する前にSMPSのAC電源が入力されている接続部分を確認してください。AC入力線がSMPSの接地端子に接続されている場合もあります。それでもSMPSが作動しない場合は新しい製品に交替してください。
それでも点灯にならない場合	SMPSの入力端子にAC電源が供給されているのに点灯できない場合はSMPSとモジュールおよびチャンネルの内部に短絡がある可能性があります。短絡が発生すると、SMPSの保護回路が作動し約1分ほど作動が止まりますので、入力電源を遮断してからまた接続してください。600Wと1000Wは作動ランプがあり、作動有無が確認できます。30W、60W、120Wは作動ランプがないため、直接出力電圧の確認が必要です。
連結した製品の最初の部分は点灯されますが、ほかの部分は点灯されなかったり間欠的に点灯したりします。	連結した製品のリード線に極性が誤っている可能性があります。点灯になる部分とならない部分の違いは極性を誤って連結しているためなので、ワイヤーナットやコネクタに連結した部分を確認してください。リード線は同じ色どうし接続しなければなりません。
モジュールの1個だけ点灯になりません。	S-LEDモジュールの中で1個が作動できなくても残りのモジュールは作動になるように設計されております。点灯にならないモジュールを新しい製品に交替してください。
点灯にはなりますが、暗い部分が出て色むらが見えます。	リード線1本の直列連結のモジュール数が許容数量を超過すると、超過した部分のモジュールの電圧が低くなり照度も低くなります。又SMPSの出力線を延長して使用する場合、指定されている長さ以上の使用は電流が低くなり照度も低くなります。
点灯にはなりますが、暗い部分が出て色むらが見えます。	チャンネルの立体が非常に低かったりモジュールの中心間隔が非常に遠く配列されている可能性があります。2'ページを参照してください。
それでも色むらが見えます。	チャンネル表面のアクリルがLED専用ではない可能性があります。光拡散PCのようなLED専用カバーをご利用ください。